

3 類型	観光資源	通巻番号	5-24-007
地域資源名	田辺南部白浜海岸県立自然公園区域	認定日	平成24年10月1日
地 域	和歌山県田辺市	所管省庁	経済産業省・国土交通省

事業名：田辺湾の自然を生かし海洋生物とふれあう体験「南紀くろしお・癒しと学びの海公園」の開発・提供

会社名：南紀みらい株式会社
 連絡先：TEL：0739-25-8230
 FAX：0739-23-1165

所在地：和歌山県田辺市湊919-6
 HP：http://www.nanki-mirai.jp/

事業概要（新たな活用の視点）

・本事業は、田辺南部白浜海岸県立自然公園区域で、イルカへのエサやりやトレーナー体験等を行う「イルカとのふれあいプログラム」、医師等との連携により開発を行うひきこもりや不登校学生向けの「イルカと泳ぐ癒しプログラム」、区域内の自然観察を行う「エコツーリズムプログラム」、自然を被写体とした写真・絵画などで芸術表現を行う「アートプログラム」等の開発・提供を行う。
 ・その他、本事業にちなんだオリジナルみやげ品の開発・販売等を行う。



「イルカと泳ぐ癒しプログラム」
イルカスイミング体験

売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）

◆競争力

・本事業を実施する目良港周辺は、景勝地である天神崎や漁港などがあり、自然環境、海洋資源に恵まれた地域である。
 ・本事業は、当海域独自の地形や岩礁、海洋生物をそのまま利用して「癒しと学び」が体感できる多彩なプログラムを提供するものであり、中でも医師や臨床心理士との連携により開発するひきこもりや不登校の学生等を対象としたレジャープログラムは、珍しい。



「エコツーリズムプログラム」
海岸の生き物などを観察

◆市場性

・近年、旅行に対しては、観光地を巡る観光旅行だけではなく、自然とのふれあいなどを取り入れた体験型の旅行へのニーズが高まっている。
 ・さらに、社会全般に癒しを求める風潮が広がっていることに加え、多くの存在が推定されるひきこもりや不登校に対するニーズに対応するものである。

◆販路

・大手旅行会社への営業活動に加え、地元旅行代理店との連携やインターネットによる情報発信のほか、パーキングエリアや主要駅、ショッピングモール等でパンフレットやチラシを配布し販路拡大を図る。
 ・ひきこもりや不登校の学生とその家族を支援する団体等を通じて「イルカと泳ぐ癒しプログラム」の情報提供を行い、集客を図る。



目良港のテーブル型の磯・岩礁

地域資源における関係事業者との連携

・南紀みらい株式会社为中心となり、田辺市、観光協会、商工会議所、旅行会社、大学、専門学校、漁協等が連携し、事業を運営する。